

地面には残さない。

記憶に残すチョークアート

2016/01/13

チョークアーティスト 西村 秀二



西村さんの作品は、まるで写真のような仕上がり。「自分で描いていても、少し離れてみると写真のように見えてびっくりすることがあります」

苦勞して何時間もかけて描いた作品。自分の思い通りに仕上がれば、額に入れて壁に飾っておきたくなるのが人情というもの。

その点で、西村さんがアスファルトの地面に描くチョークアートは、非情とも言える。

作品は砂絵のように、最後には消えてしまう。最後に消してしまうのに、それでも描く理由とは。チョークアートに込めた思いを聞いた。

「チョークアートはイベントが終われば洗い流して消してしまいます。せっかく描いたのにもったいない、とよく言われますが、チョークアートは『残さないアート』だと思っているので、むしろ残してはいけません。地面には残りませんが、その代わり、見た人の記憶に残るようなものを描きたいと思っています」

西村さんが地面に描いた絵は、描き上げただけでは完成しない。

「時間が経っても、その絵を誰かが覚えていることがわかった時、本当に絵が完成したのだと思います」

チョークアートを始めたのは 2007 年。レドンドビーチのピアに貼ってあったイベントのポスターがきっかけだ。

西村さんは、最初に白いチョークで下描きをして、色をつけていく。一つの作品を仕上げるのに、6 時間から 2 日間。

日差しが照りつける中、帽子を被り、汗を流しながら作業が続く。

「イベントは暑い時期が多いので、当然地面も熱くなります。手袋や道具を使う人もいますが、私は指しか使いません。熱くてざらざらたアスファルトを指で 2 日間こすり続けるので、火傷はするし皮膚は削れるし、イベント後は数日指が痛いですよ」

ジョン・レノンやビートルズ、BB キングら著名人の肖像画などを題材に、これまで Belmont Shore、Pasadena、Redondo Beach などのコンテストで、最優秀賞を含め 20 以上の賞を受賞してきた。

「見ている人からたくさん声を掛けてもらえるのはうれしいです。制作過程を見てもらえるので、路上パフォーマンスの要素もありますね」

西村さんのもとに毎年必ず見に来てくれる人、ずいぶん前に描いた絵を最近のことに覚えていてくれる人、絵を見て泣き出すおばあさんまでいたという。

兵庫県出身で幼い頃から毎日絵を描いていた西村さん。

「絵はほとんど独学です。実家が田舎だったので、美術の学校に行けませんでしたからね」。1999年に渡米し、その後、カレッジでグラフィックデザインを学び、チョークアーティスト、グラフィックデザイナーとして活動している。

今後はチョークアートのイベントに参加しながら、キャンバスの作品も増やしていく予定だ。

「いずれは自分の個展を開きたいと思っています」

西村さんは、決して消えることのない夢を胸に描いていた。



授賞式。イベントによっては地面に紙を敷いて描くこともある



最近の作品は著名人の肖像画が多い

受賞歴

2009 Belmontshore, Long Beach, chalk festival. 3rd place
Pasadena Chalk festival, Best Technique Award, People's Choice award, and
Silent auction award.

2010 Pasadena Chalk festival, Best Technique Award, and Silent auction award.

2011 Pasadena Chalk festival, 1st place

2012 Pasadena Chalk festival, 2nd place, and Silent auction award

2013 Pasadena Chalk festival, Most Inspirational Award, and Silent auction award
Carlsbad Art Sprash 1st place, People's Choice

2014 Pasadena Chalk festival, 1st place, People's Choice award
Belmontshore, Long Beach, chalk festival 1st place

2015 Pasadena Chalk festival, 2nd place, and Silent auction award
Belmontshore, Long Beach, chalk festival 3rd place
Carlsbad Art Sprash 1st place, People's Choice

2016 Pasadena Chalk festival, 1st place, People's Choice award